

V章 学校授業での指導

1. 小学生のなぎなた指導

武道領域は、小学校学習指導要領では取り扱われていないため、小・中・高での系統的な学習が他の領域のようにできないのが現状である。しかし、中学校での武道学習に円滑に繋げていくためには、小学校高学年から武道の基本的な動きに触れていくことが、効果的と考えられる。そこで、同じ武道である柔道等の過去の小学校での実践事例を参考に、小学校でなぎなたを取り扱うための単元計画を作成した。

2. 教育課程上の位置付け

小学校高学年の体育の領域である「体づくり」の領域は、「体ほぐしの運動」および「体の動きを高める運動」で構成されている。運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体のさまざまな動きを高めることをねらいとしている。「体の動きを高める運動」には、「巧みな動きを高める運動」として「用具などを用いた運動」がある。その例として、小学校学習指導要領には「用具をコントロールしながら投げる、捕る、回す、転がすなどの操作をすること」と示されている。なぎなたを用具と見立て、なぎなたをコントロールしながら振り上げる、振り下ろすなど、なぎなたを持って左右対称の動きや前後左右に移動するなどの動作をすることで、「巧みな動きを高める運動」のねらいであるタイミングよく動いたり、リズムカルに動いたり、力のいれ方を加減したりする体の動きを高めることが十分に可能と考えられる。以上のことから「体づくり」の「体の動きを高める運動」を通して中学校武道領域への連携としてなぎなたを用いた単元計画を作成した。

平成 29 年告示（小学校学習指導要領解説体育編参照）

3. 小学生のなぎなた授業

- ・ 単元名 「なぎなた遊び」
- ・ 指導時数 6時間
- ・ 留意

伝統的な考え方や行動の仕方を強調しすぎないようにするため、単元名を「なぎなた遊び」とした。

・ 単元計画

楽しい授業展開への工夫・興味を持って授業に取り組める練習方法の例として、なぎなたの動作を取り入れたゲームを紹介する（P99 参照）。

ゲーム1 継ぎ足リレー遊び

- ・ ライントッチリレー
- ・ なぎなたバトンタッチリレー

ゲーム2 継ぎ足おにごっこ遊び

- ・ ふえおに
- ・ はんぶんおに

ゲーム3 体さばき陣取り

ゲーム4 手の内スクワット



(1) 単元の目標 (例)

「体づくりの運動遊び」「体づくり運動」として

なぎなたを通して体の柔らかさを高めるための運動、巧みな動きを高めるための運動、力強い動きを高めるための運動、動きを持続するための運動などに触れ、運動の楽しさを知り、運動の行い方を工夫するとともに、約束を守り安全に気を配ったりすることができるようにする。

(2) 単元の計画

| | 指導内容 | 留意点 |
|-----|--|---|
| 導入 | あいさつ 準備運動 本時のねらい DVD視聴 なぎなたの特性に触れる。 | ・なぎなたのイメージを膨らませる。 |
| 展開1 | 1. なぎなたの動作 なぎなたは持たずに継ぎ足（前進・後退）を行う。 姿勢は中段の構え（半身）を意識させる。 | ・長い用具を持って運動をするために体を半身にして動かすことを理解させる。 |
| 展開2 | 2. 継ぎ足リレー 〈線（ライン）タッチリレー〉 ○内容・ルール ・手には何も持たない。 ・スタート地点（ライン）から、折り返し地点（ライン）や目印を決めて、その位置まで継ぎ足で前進し、足でラインをタッチしたら、継ぎ足で後退していく。 ・次の人へのバトンタッチは、手拭いなどのバトンタッチでも良い。 ・左足前半身で前進し、右前半身で後退しても良い。 | ・武道特有の足さばきを楽しく行わせるための手立てとして足さばきリレーを導入に入れる。 ・前進、後退の動きを充分行ってから実施する。 ・足の指先をできるだけ浮かさないように行わせる。指先を巻き込む児童がいるため、動きに対しては模範も必要。 ・体さばきは左右中段で行い、前進・後退を入れると良い。 |
| 展開3 | 3. 基本的ななぎなたの扱い方 （用具を用いた運動） ①なぎなたの取り方、移動するときの持ち方、座るとき置き方について基本的ななぎなたの扱い方を身に付ける。 ②自然体～中段の構え ③中段の構えから、継ぎ足（前進・後退） | なぎなたの取り方 ・腰を落とし、両手で行う。 ・前後や左右の人に当たらないように周囲を確認する。 ・取りに行くときの方法や順番を決めておく。 |

| | 指導内容 | 留意点 |
|-----|---|---|
| | <p>〈なぎなたバトンタッチリレー〉</p> <p>○内容・ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぎなたを持つ。 ・スタート地点から中段に構えて継ぎ足で前進し、折り返し地点で待つ味方に、なぎなたをバトンの代わりにしてパスする。 ・なぎなたを受け取った人は、素早く中段に構え、継ぎ足で前進していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・後退（後ろに下がる）していく際は、待機している児童が声をかけ、安全面に配慮する。 ・バトンタッチの際に、足がぶつからないように注意させる。 |
| 展開4 | <p>なぎなたをコントロールさせながら、なぎなたを振り上げたり振り下ろしたりする動作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中段の構えから振り上げて、面の位置まで振り下ろす。 ・中段の構えから振り上げて、すねの位置まで振り下ろす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくりの一環としてのなぎなたという観点から、複雑な動きや専門用語の使い方は、簡単な動作や言葉を使うようにする。 |
| 展開5 | <p>中段の構えから持ち替えて 八相の構え→体を回転させて側面打ち</p> <p>中段の構えから持ち替えて 八相の構え→体を回転させて面すね打ち</p> | |
| 展開6 | <p>簡単な音楽（リズム）を用いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5名から6名のグループを作って、リズムに合わせて体さばきや基本打突の動きを考えて動いてみる。 ・グループ発表会 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループが活動しやすいように場所を考え、隣の班とぶつからないように配慮する。 |
| まとめ | <p>授業の振り返りをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見交換をする。 |

4. 中学生のなぎなた指導

平成 20 年に改訂された中学校学習指導要領では、第 1、第 2 学年の保健体育で武道が必修になることが明記され、平成 24 年度から中学校での武道授業が完全実施された。なぎなた（武道）では伝統的な礼法を学ぶとともに、長いなぎなたを安全に正しく扱い、相手との距離感（間合）や相手を尊重する気持ちを育て、日常生活に生かす礼の実践を目指す。

（1）単元の目標（例）

- ① 技ができる楽しさや喜びを味わい、(武道の特性や成り立ち) 伝統的な考え方、技の名称や行い方（その運動に関連して高まる体力）などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。
- ② 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する（とともに、自己の考えたことを他者に伝える）ことができるようにする。
- ③ (武道に積極的に取り組むとともに) 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、(分担した役割を果たそうとすること) (一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど) や、健康安全に気を配ることができるようにする。

（2）単元の計画

- ・ 第 1 学年 「なぎなた」に親しむ
- ・ 第 2 学年 「なぎなた」を楽しむ
- ・ 第 3 学年 「なぎなた」を愉^{たの}しむ

3 年間の見通し

| 第 1 学年 | 第 2 学年 | 第 3 学年 |
|---|--|---|
| <u>基本の構えと動作を習得する</u> <u>2人で協力して技を表現する</u> | <u>基本の技を発展させる</u> | <u>既習した技を使う</u> <u>技の攻防を楽しむ</u> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 打ち返しを習得する (打ち返しは、技を使った 攻防の展開) | <ul style="list-style-type: none"> ・ しかけ応じを習得する (しかけ応じは、技を使った 攻防の展開) ・ 技の観点がわかる ・ 演技競技会ができる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防具を着装し、技の攻防を 楽しむ ・ リズムなぎなたを創作し、 発表する |

(3) 単元の評価基準 (例)

| | | |
|---------------|-----|--|
| 知識・技能 | 知識▶ | ①武道には技能の習得を通して、人間形成を図るといった伝統的な考え方があることについて言ったり書き出したりしている。 ②武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて学習した具体例を挙げている。 |
| | 技能▶ | ①体さばきでは、相手の動きに応じて送り足や継ぎ足、歩み足をすることができる。 ②基本の打突の仕方と受け方では、体さばきを使って、面やすねの部位を打ったり受けたりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | | ①提供された練習方法から自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | ①相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ②なぎなたの扱い方を守るなど、健康・安全に留意している。 |

| 指導と評価の計画 (例) | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|------------------------------------|--|--|---|
| 指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| オリエンテーション なぎなたと一緒に動いてみよう | 振ってみよう 打ってみよう | 振ってみよう 打ってみよう | 持ち替えて 打ってみよう | 連続して 打ってみよう | 連続して 受けてみよう | 打ち返しを 発表しよう |
| 本時のキーワード | ◆「礼」 相手を尊重し、敬意をあらわす。日常生活での礼の大切さを伝える。 ◆「左座右起」 座礼をするときに左足から座って右足から立つこと。 ◆「体を開く・半身」 体、腰を横に向けた状態のこと。 | ◆「体さばき」 体を前後、左右、斜めなどに移動する足の動作のこと。 ◆「発声」 声を出すこと。 打突の瞬間に打突部位を呼称しながら一気に氣勢に満ちた声を出す。 | ◆「手の内」 なぎなたの握り方のこと。 | ◆「間合」 相手と自分の距離のこと。 ◆「残心」 技をかけたり、かけられたりした後にも気をゆるめないうでどんな変化にも対応できる身構え、心構えのこと。 | ◆「攻防」 相手に対して攻めたり、防いだりすること。2人の距離が近すぎず、遠すぎず適切な間合で攻防を行う。 ◆「着眼」 相手を見ること。正しい姿勢を保つための目の役割と、相手の動きに変化に対する目の動きのこと。 | ◆「気剣体一致」 気持ち・なぎなた・体勢が一致していること。正しい発声・正しい打ち・正しい姿勢が整っていること。 |
| 0分 | オリエンテーション | | | | | |
| 10分 | 学習指導内容確認、礼法、準備運動、補強運動 等 | | | | | |
| 20分 | 前時の復習・確認 | | | | | |
| 30分 | ● DVD 視聴 ● 特性 ● 歴史など | 構え 自然体 ● 中段に構える | 構え 自然体 ● 八相に構える | 続けて打つ ● 二段打ち ● 三段打ち | 打ち返し練習 2人組での基本動作 ● 打ち方 前進・後退 | ペアで 打ち返し練習 |
| 40分 | 基本動作 ● なぎなたの取り扱い方 ● 礼法 | 体さばき ● 送り足 (前・後) ● 継ぎ足 (前・後) | 体さばき ● 送り足 (前・後) ● 歩み足 (前・後) | 打ち返し練習 ● 打ち方 間合・呼吸 ● 発声・残心 | 受け方の練習 (応じ方) ● 刃部・柄部 | 発表会 |
| 50分 | グループ活動 相対で練習 打ち返し(打ち方) 前進・後退 | | | | | |
| 50分 | グループ活動 相対で練習 打ち返し 攻防を考えて | | | | | |
| 50分 | 整理運動、本時のまとめ、振り返りシート記入、次時の連絡、礼法、後片付け 等 | | | | | |
| 50分 | 単元のまとめ | | | | | |

| 評価の観点 | オリエンテーション なぎなたと一緒に動いてみよう | | | | | |
|---------------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1 時間目 | 2 時間目 | 3 時間目 | 4 時間目 | 5 時間目 | 6 時間目 |
| 知識・技能 | 知識▶ | ① | | | ② | |
| | 技能▶ | | | ② | ① | |
| 思考・判断・表現 | | | | | ① | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | ② | | | ① | |
| 総括的な評価 | | | | | | |

(4) 発展的な指導内容 (例)

「打ち返し」ができるようになると、さまざまな学習内容が可能となる。ここでは四つの指導内容例を紹介する。

| | 7 | 8 | 9 | 10 |
|------------------|---|--|---|---|
| 学習内容 | 打ち返し選手権大会の方法を知る | 学習した技を教え合う | 相手と息を合わせる | 競技や運営に取り組む |
| 例① 打ち返し選手権大会 | <ul style="list-style-type: none"> ●打ち返し選手権大会のオリエンテーション ・役割分担（呼び出し・記録・審判）の方法を知り、役割を決める ・打ち返しペアを決める ・学習した技の確認をする ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●ペア学習 ・相対になる ・打ち方、受け方を互いに教え合い練習する ・構え・打ち・受けを確認する ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●ペア学習・グループ学習 ・受けるタイミングを知る ・他のペアと練習し、出来栄を伝え合う ●入退場の仕方を知る ●分担した役割を確認しておく ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●打ち返し選手権大会 ・分担した役割に責任を果たす ・練習した技を堂々と発表する ・仲間の発表を見て、出来栄を伝え合う ・ペアで出来栄を伝え合う ●本時の振り返りをする |
| 学習内容 | しかけ応じを知る | 学習した技を教え合う | グループで教え合う | しかけ応じを発表する |
| 例② しかけ応じ | <ul style="list-style-type: none"> ●しかけ応じのオリエンテーション ・しかけ応じ1～2本目をDVD視聴で確認する ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●ペア学習 ・相対になる ・正しい構え・打ちの確認をする ・打つ・受けるタイミングを知る ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●他のペアと練習し、出来栄を伝え合う ●入退場の仕方を知る ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●ミニ発表会 ・2組ずつ同時に演武する ・ペアで出来栄を伝え合う ・他のペアと出来栄を伝え合う ●本時の振り返りをする |
| 学習内容 | リズムなぎなたを知る | 学習した技を組み合わせる | 動きやリズムを合わせる | リズムなぎなたを発表する |
| 例③ リズムなぎなた | <ul style="list-style-type: none"> ●リズムなぎなたのオリエンテーション ※「リズムなぎなた」とは音楽に合わせて学習した技を組み合わせること ・課題曲を聞く（提示された曲のイメージをつかむ） ・音楽に合わせて動いてみる ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●リズム合わせ（音に合わせて振ったり打ったりする） ●創作1 ・使える技を書き出す ●創作2 ・回数・速さを決める ●創作3 ・隊形や移動を決める ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●通し練習1 ・意見を出し合い手直しをする ●通し練習2 ・互いに教え合い出来栄を伝え合う ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●発表会（他のグループの発表を見て出来栄を伝え合う） ●本時の振り返りをする |
| 学習内容 | 防具を着ける | 防具を着けて動く | 防具を着けて打つ | 防具を着けて打ち返しを行う |
| 例④ 防具を着けて打ち返し | <ul style="list-style-type: none"> ●防具を着ける ・紐の結び方を知る ・防具の名称を知る ・防具の置き方・着け方・外し方・手ぬぐいの着け方を知る ・2人1組で教え合いながら防具の着け・外しをする ・防具を着けて動いてみる ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●防具を着けて技を行う ・防具を着ける練習をする ・中段・八相に構える ・体さばきを復習する ・振り・打ちを復習する ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●防具を着けて相対し、打ち合う ・打たせ方を知る（面・側面・すね） ・号令で相手の部位（防具）を打つ（面・側面・すね） ・体さばきを使って間合をとる ●本時の振り返りをする | <ul style="list-style-type: none"> ●防具を着けて相対し、打ち合う ・号令で連続して打つ ・打ち返しの打たせ方を知る ・打ち返しをする ●本時の振り返りをする |

5. 中学生指導案 目標 (例)

・指導案 1 / 6 時間目

本時の目標 ・オリエンテーション

キーワード：「礼」「左座右起」「体を開く・半身」


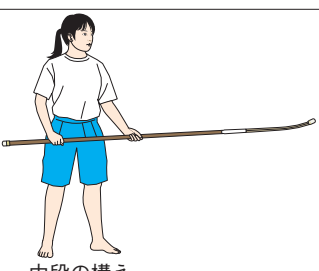


・なぎなたと一緒に動いてみよう

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 評価 |
|----|---|----------------------|-----|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | DVD 視聴 「なぎなた」を知る | | |
| 10 | なぎなたの歴史 なぎなたの特性 | 本時のキーワードを説明する | |
| 15 | なぎなたの取り扱い方 礼法 (立礼・座礼) | なぎなたの扱い方で気を付ける点を確認する | 知識① |
| 20 | | 肩の力を抜き、背筋を伸ばす | |
| 25 | | | |
| 30 | | | |
| 35 | | | |
| 40 | | | |
| 45 | 本時の振り返りを行う (カード記入) 次時の学習について知る あいさつをする (座礼) | | |
| 50 | | | |

・指導案 2 / 6 時間目

本時の目標 ・振ってみよう
 ・打ってみよう

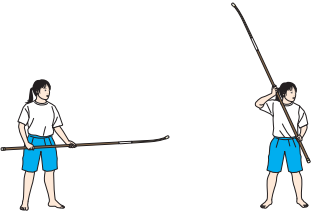
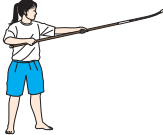
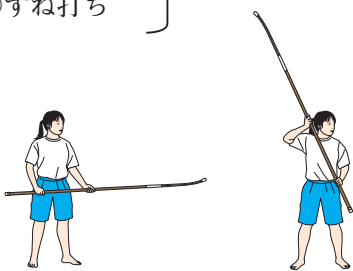
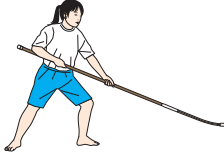
キーワード：「体さばき」「発声」

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 評価 |
|----|---|--|------------------------|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | 前時の復習 ○自然体 ○中段の構え | なぎなたを体から離さないように動く | |
| 10 | 体さばきをしてみよう ○送り足 ○継ぎ足 (P24、25 参照) | | 主体的に 学習に取り 組む態度② |
| 15 | |  自然体  中段の構え | |
| 20 | なぎなたを振ってみよう ○上下振り 後ろ足を前足にそろえるのと同じに | 周囲に気を配り、安全に気を配りながら行う  中段の構え → 振り上げ → 振り下ろし | |
| 25 | 頭上に振り上げる そろえた後ろ足を戻しながら振り下ろし、半身になる | | |
| 30 | 打ってみよう ○面打ち 振り上げ（頭上に振り上げる） まっすぐに振り上げ、下ろす | 発声は「メン」  中段の構え → 振り上げ → 面打ち | |
| 35 | | 教師の号令で体さばきと面打ちをさせる 「前・前・面を打て！」 「後・前 面を打て！」など | |
| 40 | | | |
| 45 | 本時の振り返りを行う（カード記入） 次時の学習について知る あいさつをする（座礼） | | |
| 50 | | | |

・指導案 3 / 6 時間目

本時の目標 ・持ち替えて打ってみよう

キーワード：「手の内」

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 評価 |
|----|---|--|-----|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | 前時の復習 ●自然体●中段の構え ●上下振り●面打ち●体さばき | | |
| 10 | 八相の構えを知る (右・左) なぎなたが体に沿うように行う | 右手と左手を体の中心で持ち替えさせる | 技能② |
| 15 |  |  | |
| 20 | ○側面打ち | 体を 180 度回転させながら、前の手を自然に伸ばすように意識させる | |
| 25 | 左右対称 同じ動き方をする | 打ちと同時に大きな声を出させる 発声は「メン」 | |
| 30 | ○すね打ち | 発声は「スネ」 | 技能② |
| 35 |  |  | |
| 40 | 体さばきをつけて打突してみよう ○歩み足 ○送り足 | 指導者の号令に合わせて行う 「前・前・側面を打て！」 「後・前 すねを打て！」 | |
| 45 | 本時の振り返りを行う (カード記入) 次時の学習について知る あいさつをする (座礼) | | |
| 50 | | | |

・指導案 4 / 6 時間目

本時の目標 ・連続して打ってみよう


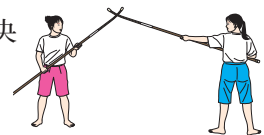
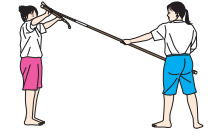

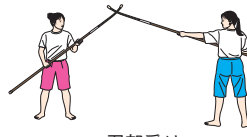


キーワード：「間合」「残心」

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 評価 |
|----|---|--|------------|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | 前時の復習 ●上下振り●面打ち●体さばき ●側面打ち●すね打ち | 指導者の号令に合わせて打つ 安全な間合で行う | 知識② |
| 10 | 二段打ち、三段打ちをやってみよう 打ち返しに挑戦しよう 打ち返しの打ち方を知る | 続けて2本・3本連続して打たせる 既習した打ち方を組み合わせて打たせる | |
| 15 | 面⇒左側面⇒右側面⇒左すね⇒右すね ⇒面 | 号令で一斉に行う 大きな声で発声させる 連続して打つ方法を知らせる 体からなぎなたを離さないよう注意させる | 知識② 技能① |
| 20 | | | |
| 25 | グループ活動 お互いにアドバイスや教え合い をする | 周りに気を配り人に当たらないよう十分に 距離をとって行わせる 全体同じ方向に向かって練習させる | |
| 30 | 構え方を確認する 打つ人 見る人 | 横に振り回さず前方に向かって打つ ぎこちない動きから段々とスムーズな動きを 体得させる | 技能① |
| 35 | 打ち返し前進・後退 | 相対で前進後退の打ち返しを行い、間合を つかませる | |
| 40 | 本時のまとめ 列ごとに打ち返しを行う | 教師の号令で打たせる 安全な距離を保たせる 相手の動きをよく見て動くよう意識させる | |
| 45 | 本時の振り返りを行う（カード記入） 次時の学習について知る あいさつをする（座礼） | | |
| 50 | | | |

・指導案 5 / 6 時間目

本時の目標 ・連続して受けてみよう

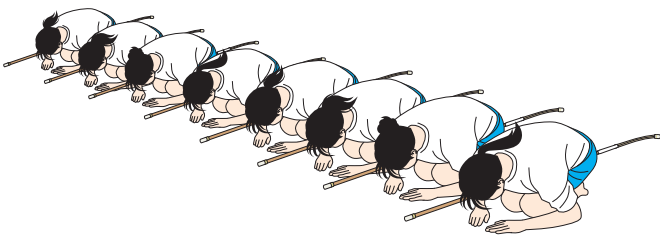
キーワード：「攻防」「着眼」

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 評価 |
|----|---|--|------------------------|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | 前時の復習 ●上下振り●体さばき ●打ち返し | | |
| 10 | 「お互いに礼」 「相対になる」  | 相手と自分の距離は約4mで向かい合う お互いに中段になる（相中段） | |
| 15 | ○面の受け方 刃部・柄の中央  刃部受け |  柄の中央受け | |
| 20 | ○側面の受け方 柄部・刃部  柄部受け |  刃部受け | |
| 25 | ○すねの受け方 柄部・刃部  柄部受け |  刃部受け | |
| 30 | ○連続して受ける練習 左右面（左側面・右側面） 左右すね（左すね・右すね） | 体に沿わせて行わせる 相手の打ちをよく見て受ける | |
| 35 | ○打ち返しを受けてみよう 自然体・礼⇒中段⇒面⇒左側面 ⇒右側面⇒左すね⇒右すね⇒面 ⇒中段・自然体・礼 | 相手の動きをよく見て受ける | 思・判・表① |
| 40 | ○ペアで練習する | | 主体的に 学習に取り 組む態度① |
| 45 | 本時の振り返りを行う（カード記入） 次時の学習について知る あいさつをする（座礼） | | |
| 50 | | | |

・指導案 6 / 6 時間目

本時の目標 ・打ち返しを発表しよう

キーワード：「気剣体一致」

| 分 | 学習内容 | 指導上の注意 | 総合評価 |
|----|---|--|------|
| 0 | あいさつ 出欠点呼等 準備体操 | | |
| 5 | 前時の復習 ●上下振り●体さばき ●打ち返し（打つ、受ける） | 安全な間合で 気持ちを合わせて | |
| 10 | ○グループ活動 グループで相手を替えながら打ち返し の練習をしてみよう | 相手を尊重して行わせる | |
| 15 | | | |
| 20 | ○打ち返し発表会 2人1組になり打ち返しを行う | 目線を相手から離さない 正しい構えから、正しい部位を打たせる 2人の気持ちを合わせて行わせる | |
| 25 | | 「発声・なぎなた・体さばき」が一致する よう意識させる | |
| 30 | | | |
| 35 | 友達の発表の良かった点を評価する | | |
| 40 | 発表会の感想を書く 単元のまとめをする | 自分自身の出来栄を評価させる なぎなたの授業を通して学んだことを 記入させる | |
| 45 | あいさつをする（座礼） |  | |
| 50 | | | |

授業振り返りシート

◎授業のねらい➡『なぎなたと一緒に動いてみよう!』

月 日

| | | | | | | |
|---------|------------------|---|---|---|---|---|
| 1 回目 | ▷なぎなたの礼法を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷なぎなたの取り扱いを理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷基本動作を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想・反省・質問 etc

◎授業のねらい➡『なぎなたを振ってみよう・打ってみよう!』

月 日

| | | | | | | |
|---------|---------------------|---|---|---|---|---|
| 2 回目 | ▷楽しくできた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷振り方、打ち方がわかった | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷周りとの距離を考えて動くことができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想・反省・質問 etc

日常生活で生かされたことがありますか？(例:あいさつを積極的にできた。物の扱いに気を付けた。)

◎授業のねらい➡『持ち替えて打ってみよう!』

月 日

| | | | | | | |
|---------|---------------------|---|---|---|---|---|
| 3 回目 | ▷八相の構えを理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷側面打ち・すね打ちの打ち方がわかった | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷体さばきとともに打つことができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想・反省・質問 etc

日常生活で生かされたことがありますか？

◎授業のねらい➔『連続して打ってみよう！』

月 日

| | | | | | | |
|----------------|----------------|---|---|---|---|---|
| 4 回目 | ▷打ち返しの順番を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷相手との間合を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷グループで教え合いができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想・反省・質問 etc

日常生活で生かされたことがありますか？

◎授業のねらい➔『連続して受けてみよう！』

月 日

| | | | | | | |
|----------------|-------------------|---|---|---|---|---|
| 5 回目 | ▷打ち返しの受け方を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷打つ・受けるタイミングがわかった | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷相手を尊重して活動ができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想・反省・質問 etc

日常生活で生かされたことがありますか？

◎授業のねらい➔『打ち返しを発表しよう！』

月 日

| | | | | | | |
|----------------|----------------------|---|---|---|---|---|
| 6 回目 | ▷打ち返しの発表を頑張った | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷仲間の発表をしっかり見ることができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷仲間に課題や出来栄を伝えることができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

発表を終えての感想

なぎなたの授業を振り返って

《発展》
振り返りシート

◎本時のねらい➡ () 月 日

| | | | | | | |
|---------|-------------------|---|---|---|---|---|
| 7 回目 | ▷課題を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷仲間とアドバイスし合えた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷周りに対し安全に気を付けてできた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想

◎本時のねらい➡ () 月 日

| | | | | | | |
|---------|--------------------------|---|---|---|---|---|
| 8 回目 | ▷課題を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷お互いにポイントを理解して取り組むことができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷積極的に意見を言い合えた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想

◎本時のねらい➡ () 月 日

| | | | | | | |
|---------|--------------------------|---|---|---|---|---|
| 9 回目 | ▷課題を理解できた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷お互いにポイントを理解して取り組むことができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷積極的に意見を言い合えた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想

◎本時のねらい➡ () 月 日

| | | | | | | |
|----------|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 10 回目 | ▷自分で見つけた課題を達成することができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷仲間の良いところを見付けることができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | ▷役割を果たすことができた | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

感想